



**企画展** 三浦よし木 漫画「花を埋める」原画展  
— 作品に描かれた「遊び」と「恋」 —

小説「花を埋める」は、新美南吉が安城高等女学校で教諭をしていた昭和十四年、ハルビン日日新聞に発表した作品です。その内容は主人公の「私」が、幼い頃に少女の「ツル」たちと興じた「花を埋める」遊びについて、「ツル」へ抱いていた恋心とともに回想するというものです。

今年二月、愛知県が主催したオンライン・アートプロジェクト「AICHI ONLINE」のウェブサイトで、この「花を埋める」を原作とした読み切り漫画が期間限定で公開されました。手がけたのは南吉と同じ半田市出身の漫画家、三浦よし木さんです。少年のほろ苦い初恋を繊細なタッチで描き

**展示構成**

- 第一章 AICHI ONLINE
- 第二章 漫画家・三浦よし木
- 第三章 小説「花を埋める」とその舞台
- 第四章 作品に描かれた「遊び」と「恋」



©三浦よし木



上げた漫画は、期間中好評を博しました。三浦さんのもとと、南吉を題材にしたものを描いてみたいと考えていたそう、数ある南吉作品の中から選ばれたのが「花を埋める」でした。作中の風景が自然にイメージできたことや、想像の余地があることが理由で、実際に漫画では原作にない描写が追加され、ストーリーを補完しています。

記念館では七月四日(日)まで、この漫画「花を埋める」の原画展を開催しています。会場では漫画の原画を全て展示しているため、読んだことがない方でも、原画を見ながらストーリーを追うことができます。作品に描かれた昔の遊びや、南吉の初恋についてもパネルで紹介していますので、ぜひご覧ください。会期中、館内のカフェ&ショップで、三浦さんが描き下ろしたイラストのポストカードも販売しています。

おはなしのほしほしはほしほし  
— おはなし会 —

南吉記念館図書室で毎月第二日曜日に、南吉童話の読み聞かせや紙芝居が楽しめる「おはなし会」が始まりました。

この「おはなし会」を主催しているのは、地元の朗読グループ「南吉童話お話の会 でんでんむし」のみなさんです。毎回四十五分ほどの時間で、四〜五編の南吉作品を紹介することを目標にしています。

その記念すべき第一回が、四月十一日(日)に開催されました。第一回ということで、まず初めに朗読されたのは、「一」がつくお話「一年生たちとひよめ」です。それから「きつねのつかい」の紙芝居が披露され、南吉のお話ではありませんが、第三十二回新美南吉童話賞でオマージュ部門大賞に輝いた「マーガレット」の朗読がありました。



この日は「マーガレット」の作者・久守芽里依さんも同席されていて、その朗読に耳を傾けられていました。ほかに、「狐」を絵本で読み聞かせしたり、「里の春、山の春」を自作の大

型紙芝居で上演して、第一回は終了となりました。「おはなし会」を始めた理由について、グループの代表まつもとさんは、「私たち自身南吉のお話が好きですし、定期的で開催することで、有名な作品以外にもいろいろ南吉のお話を紹介できるので、ぜひ気軽に来てもらえれば」と話し、意欲を覗かせていました。

毎月第二日曜日、午前十一時からの開催です。ぜひ記念館の図書室へ足をお運びください。

# 記念館からのお知らせ

## 童話創作講座

童話作家を目指す方や童話の創作に興味を持つ方々を対象にした講座です。(全2回)

日時 5月30日(日) 10時～12時  
7月4日(日) 10時～13時

場所 アイプラザ半田・第1会議室

講師 高橋一元氏(東海学園大学人文学部教授)

対象 中学生以下

定員 20名(先着順)

受講料 1,000円

申込み 南吉記念館まで電話でお申込みください。(☎0569-26-4888)

## 正八ちゃんの端午の節句

子どもの日は正八ちゃん(南吉の本名)になったつもりで楽しもう!

5月4日(火・祝)、5日(水・祝)

竹とんぼおじさんが  
やってくる! 10:00～12:00  
13:00～15:00

三浦よし木さんに似顔絵を  
描いてもらおう! 11:00～12:00  
14:00～15:00

ギャラリートーク 10:30～10:50  
13:30～13:50

ごん吉くんの謎解き  
クイズラリー 9:30～17:00

GON-ART 12:00～15:45



上記イベントには事前に整理券を配布するものがあります。詳しくは記念館HPまで。

新美南吉記念館HP ▶



## 三浦よし木 漫画「花をうめる」原画展 — 作品に描かれた「遊び」と「恋」 —

半田市出身の漫画家・三浦よし木さんが新美南吉の短編小説「花を埋める」を漫画化されました。その原画を全て展示します。詳細は右頁をご覧ください。



©三浦よし木

期間 7月4日(日)まで  
場所 記念館展示室

観覧料 220円(中学生以下無料)

## 日誌抄:

三月(弥生)

▼12日 つばき幼稚園の園児8名が、園児たちが折った約500個の貝殻を代表して記念館へ贈呈▼13日「ペーパーアート教室」。12名参加▼14日 第32回新美南吉童話賞表彰式。於記念館会議室▼19日 第32回新美南吉童話賞オマージュ部門大賞受賞者の久守芽里依さんが、受賞作を収録した自費出版本を記念館へ寄贈▼同日 朝日新聞の「わがまちお宝館」のコーナーで記念館が紹介される

■新美南吉記念館だよりは年四回の発行になります

これまで「新美南吉記念館だより」は年六回、隔月で発行してきましたが、本号より年四回の発行に変更させていただきます。内容については、変わらず南吉や記念館の最新情報についてお届けしていきますので、引き続きお楽しみください。



今年も6月1日(火)から創作童話の募集を開始します。多くの方からのご応募をお待ちしています。

## 【募集部門】

部門		様式	枚数
自由創作部門	一般の部(高校生以上)	400字詰原稿用紙	7枚以内
	中学生の部	//	5枚以内
	小学生高学年の部(4年生以上)	//	5枚以内
	小学生低学年の部	//	3枚以内
新美南吉オマージュ部門	小学生～一般	//	7枚以内

## 【応募規定】

- 日本語で書かれた童話を創作してください。自作未発表で、他の創作童話賞へ同時に応募をしていないものに限り。合作は不可。※同人誌や校内文芸誌、WEBなどに掲載した作品は「発表」に含みます。※自由創作部門と新美南吉オマージュ部門それぞれに別作品を応募、受賞することは可能です。
- 原稿は必ず縦書きで、濃い筆記用具を使用してください。(パソコンの場合も紙は横向き、1枚20字×20行で印刷)※原稿用紙には、題名(欄外でも可)と、本文のみ書いてください。
- 応募票または、部門名(オマージュ部門の場合は選んだ作品名も)、題名、郵便番号、住所、氏名(学生の場合は保護者名も)、年齢(学生の場合は学校名・学年も)、電話番号(携帯電話でも可)を記載したA4判の紙を1作品につき1枚添えてください。※応募票は南吉記念館のHPからダウンロードもできます。
- 応募作品の返却はいたしません。入選作品の著作権は半田市教育委員会に帰属するものとします。

## 自由創作部門

テーマは自由です。  
上記の応募規定をよく確認のうえ、ご応募ください。



## 新美南吉オマージュ部門

オマージュとは「尊敬・敬意・賞賛」という意味のフランス語です。この部門は、新美南吉の作品に通じるテーマで、新たな童話を創作するというものです。対象作品は新美南吉が書いた童話・小説・戯曲から1作品を選び、単なる物語の続きやパロディではなく作品から感じたことをテーマに、新しい童話を創作してください。  
※対象作品の作中人物を登場させる必要はありません。時代、舞台、動物と人間という関係や登場人物同士の関係など、原作にとらわれず自由に設定してください。参考にホームページで南吉作品6編を掲載しています。

## 【応募期間】 令和3年6月1日(火)～9月10日(金)

※当日の消印有効。海外から発送したものは当日必着。

【賞金】 最優秀賞…1編 賞金50万円 ※両部門を対象に選考します。オマージュ部門より最優秀賞を受賞した場合、ダブル受賞となりますが賞金の重複はありません(最大賞金額50万円)。自由創作部門/優秀賞…一般の部2編 賞金5万円、その他の部各1編 賞品3万円 ほか 新美南吉オマージュ部門/大賞1編 賞金10万円、優秀賞1編 賞金5万円 ほか

## 【発表】 令和3年11月下旬予定(入選者のみに連絡)

※HPでは、受賞者と併せて一次審査通過者も氏名または筆名と都道府県を発表します。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、発表および表彰式の日程、形式が変更となり得ます。

## 【応募/問合せ先】 新美南吉記念館 新美南吉童話賞係

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1

☎0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

- 審査員 藤田のぼる(児童文学評論家)、酒井晶代(児童文学研究者)、富安陽子(児童文学作家)、山本悦子(児童文学作家)、知多管内小中学校教諭 ほか

主催 半田市教育委員会

共催 新美南吉顕彰会、公益社団法人半田青年会議所

後援 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、安城市教育委員会、中日新聞社

協賛 ミツカングループ、知多信用金庫、半田信用金庫